

所 報

(1998.3.1 ~ 3.31)

人事(3月31日付)

退任	運営委員	小椋 正立
	同	松崎 義
	同	伊集院 立
退任	兼任研究員	水野谷武志
任期終了	客員研究員	王 少鋒
	同	Elyssa Faison
	同	金 泰永
退職	多摩学務部学務課付事務課長相当職	横田 礼子

刊行物

法政大学大原社会問題研究所編『現代の韓国労使関係』(御茶の水書房刊)

その他の刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』473号(1998年4月号)
『新着図書目録』180号(1998年3月2日発行)

図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	76	16	92
受 贈	184	23	207
合 計	260	39	299

閲覧サービス

閲 覧

開館日数 25日
閲覧人員 23名
貸出図書 23冊

コピーサービス

学 外 25件 3404枚
学 内 7件 1660枚

- 3日 重複不要図書を寄贈(法政大学多摩図書館, デューク大学)
- 4日 『日本労働年鑑』編集会議
QWL研究会
報告者 原田悦子
テーマ 「認知科学からみた使いやすさ」
- 6日 学部入試
- 10日 私立大学図書館協会レファレンス分科会
(於: 国立音楽大学, 遊座圭子参加)
来所: R. マテアス(ドイツ・ボフム大学東アジア学部教授), E. パウアー(ドイツ・マールブルク大学教授・日本研究センター所長)
- 11日 『日本労働年鑑』編集会議
重複不要図書を寄贈(ボフム大学, マールブルク大学)
- 12日 資料保存委員会特別研修会(於: 国立国会図書館, 遊座圭子参加)
- 14日 加齢過程における福祉研究会
報告者 青木泰信(特別養護老人ホーム・みやま大樹の苑施設長)
テーマ 「老人ホーム, 在宅ケアと医療」
- 16日 QWL研究会
報告者 古屋孝夫(金属労働研究所)
テーマ 「金属産業における人事考課と労働組合の対応」
- 17日 藤林敬子氏より竹久夢二関係資料, 秩父事件関係資料等受贈(段ボール6箱)
- 18日 『日本労働年鑑』編集会議
運営委員会
議題 諸報告
人事について
身分審査委員会規程(案)について
その他
- 24日 事務会議
- 25日 研究員会議
月例研究会
報告者 横関 至
テーマ 「1920年代農民運動における教育活動 - 日農香川県連を事例として -」
『日本労働年鑑』編集会議

大原社会問題研究所雑誌 No.476(1998年7月号)
1998年7月25日発行
定価 1,000円(本体952円), 年間購読料12,000円

編集人 早川征一郎
発行人 法政大学大原社会問題研究所
所長 早川征一郎
〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
電話 0427(83)2307

投稿募集

本誌は社会問題・労働問題に対する論文，調査報告，書評を広く募集しています。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投稿規定

1. 原稿は，ワープロ原稿による未発表のものに限ります。
2. 論文の長さについては，400字詰原稿用紙50枚程度が望ましい（図表を含む）。
3. 本誌に初めて投稿する場合には，研究歴など簡単な履歴を添付してください。
4. 編集委員会で審査のうえ，採否をご連絡します。
5. 原稿2部を下記まで送付してください。
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論文執筆要項

論文を執筆される場合には，下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には，原則として原稿を返却しませんので，原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には，ある程度の行間を取って下さい。

- 1 一般的な原則
横書きとする。
タイトル，氏名の次に簡単な目次をつける。
原稿の最後に，執筆者名（ひらがな），肩書き（所属，職名）を記入する。肩書きは大学の場合には，学部，研究所等の名称まで表記する。
注をつける場合には，各章ごとに分割せず，最後に一括し，通し番号をつける。
図，地図などは，可能な限りトレース済のものを提出する。
- 2 注記の方式
日本語の図書・論文の場合
A. 日本語で書かれた図書については，著者名，書名（書名は『』で囲む），出版社名，発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には，発行年の次に記入する。
（例）法政大学大原社会問題研究所編『《連合時代》の労働運動』総合労働研究所，1992年，10頁。
B. 著者が2人の場合には，両者の姓名を書く。3人以上の場合には，「他」の方式も可とする。
C. 論文については，執筆者名，論文名（「」で囲む），掲載雑誌名（『』で囲む），巻号，発行年月日の順に書く。
（例）加藤譲治「ポストモダニズムと労働組合」『大原社会問題研究所雑誌』404号，1992年7月。
D. 注の最後は，かならず「。」で止める。
欧文の図書・論文の場合
A. 欧文の図書については，著者名，書名，発行地（あるいは出版社名），出版年を書く。書名は，イタリックにするので，下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
B. 論文の掲載雑誌名は，イタリックとする。
C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
D. 注の最後は，かならず「。」で止める。

以上

専任研究員の公募について

このたび、本研究所では、下記の要領で専任研究員を募集いたします。
つきましては、関係者に広くご周知くださるよう、なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 採用専任研究員

- (1) 専門領域 社会・労働問題（日本・外国を問わず、歴史関係の研究者が望ましい）
- (2) 採用人員 1名
- (3) 応募資格 (1) 採用時に満40歳未満の者
(2) 大学院修士課程（博士前期課程）修了以上の者
- (4) 予定職位 法政大学の規程により審査し、教授、助教授、専任講師、研究助手のいずれかに決定します。
- (5) 留意事項 (1) 大原社会問題研究所では、研究所の継続事業として、『日本労働年鑑』や月刊誌『大原社会問題研究所雑誌』を刊行しています。専任研究員には、その分担執筆や編集業務が要請されることにご留意ください。
(2) 研究所では、マルチメディア・データベースの構築など、コンピュータ業務を行なっています。パソコン使用の経験について、できるだけ詳しく履歴書に記入してください。

2. 応募期限 1998年7月31日（金）必着

3. 採用予定日 1999年4月1日

4. 提出書類など

- (1) 履歴書1通（市販のもので結構です。メール・アドレスがあれば記入してください）
- (2) 研究業績リスト1通
- (3) 主要研究業績3点以内。著書、論文とも、1点につき現物または抜き刷り、コピーを3冊（部）ずつ送付してください。主要と考えられる順に、順序を付けてください。

5. 書類などの提出先

〒194-0298 東京都町田市相原町4-3-4-2
法政大学大原社会問題研究所庶務課
（「専任研究員応募書類」と明記してください）

6. 問い合わせ先

法政大学大原社会問題研究所庶務課（Tel.0427-83-2307）